

事業所名

あいあい静岡インター校

## 支援プログラム

作成日

令和 7 年

1 月

14 日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。					
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。					
営業時間		10 時	00 分から	19 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活や自宅での様子を共有し、日常生活を本児らしく落ち着いた環境下で過ごすことが出来るように一緒に考え、サポートします。</li> <li>お子さんの身体に関するアセスメントを通して、ニーズをしっかりと把握し、活動中の表情や様子を常に観察しつつ、ニーズを意識した関わりを持ちます。</li> <li>基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所等での時間の過ごし方）を獲得できるようサポートします。</li> <li>事業所内外での過ごし方や、集団場面での過ごし方について、スケジュールを意識ながら過ごせるようになるためのサポートをします。</li> <li>適切な生活習慣や生活リズムが獲得できるように支援します。</li> <li>日常生活における時間やお金の管理・計画性などのマネジメントスキルが向上するように支援します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>着席して集中する時間とご本人がリラックスできる時間とを明確に分けることで、自分の心と身体をコントロールしながら活動を行えるように支援します。</li> <li>姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上を促すような支援をします。</li> <li>お子さんの感覚の特性等を踏まえながら、五感への刺激が促されるような活動を行います。</li> <li>感覚に対する過敏性や鈍麻など、ご本人の特性に合わせた配慮や環境設定を心がけます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんや保護者の方とのやり取りの中で、ニーズを把握し、ご本人が困難さや苦しさを感じている部分を指導員と一緒に取り組むことで、安心感を持って活動を行えるように支援します。</li> <li>ご本人が「知りたい」「学びたい」と思えるように、成功体験を通して、自信へと繋げていけるような促しと関わりを行い、意欲的に楽しく学ぶことができるような経験を提供します。</li> <li>お子さんの感覚を刺激しながら、物の扱い方や仕組みなどの理解を促していけるように支援します。</li> <li>お子さんの認知のパターンについて一緒に理解を深めながら、自己認知も促しつつ、いろいろな場面への適切な対応に結び付けていけるように支援します。</li> <li>感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害への予防及び適切行動への対応の支援を行います。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の職員との関わりの中で、他者との円滑なコミュニケーションを学んでいけるような支援を行います。</li> <li>事業所内の大人との関わりから得たものを、同世代とのやり取りに繋げ、気持ちを言葉や体で適切に表出し、自分の気持ちをコントロールできるように促していきます。</li> <li>お子さんの発達段階に合わせて、言葉の理解や表出が豊かになるように支援します。</li> <li>お子さんの発達段階に合わせて、文字を読む力や書く力が向上するように支援します。</li> <li>場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるように、必要に応じて、その都度お声かけをしたり、SST等で学習した内容を実際のやり取りの中で想起してみたりしながら、実践的にコミュニケーション能力を高められるように支援します。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活や日常生活の中で起きやすい人間関係にまつわる出来事について、多面的な考え方があることを知り、自身の行動に活かせるような機会を設けます。</li> <li>ご本人が生活の中で不安に感じていることや疑問に思っていることなどを、事業所の職員と気軽に話し、不安なく落ち着いた気持ちで自分らしく生活を送ることが出来るようにサポートします。</li> <li>ご本人が自分の感情や気持ちに関心を持ち、自己理解を深めながら安定した情緒で過ごすことができるように支援します。</li> </ul>					
家族支援	事業所の職員は直接的支援を、本部の職員は間接的支援を全力で行います。問題が発生した際は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップをします。発達のプロとしての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を觀察または参加いただいた上で、ご本人の長所や苦手な事柄を踏まえた関わり等に関しての相談援助を行います。				移行支援	今現在通っている学校や移行する機関との連携を深め、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。また、個別支援計画の目標やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報の連携を行い、次の個別支援計画の目標設定にも活かしていきます。	
地域支援・地域連携	地域の方からの信頼を得られるように、常に支援の質を向上させていきます。また、地域資源との連携会議を定期的で開催し、情報収集や役割分担についての協議を行っていきたく思います。各関係機関からの情報に基づき、必要に応じて、具体的な場面でのこどもとの関わり方や関わる際のポイントについて助言を行います。				職員の質の向上	法人単位・各エリア単位・事業所単位それぞれでの研修や、外部講師による研修の実施も行っていきます。療育に関わる法制度や5領域に関するガイドラインの読み合わせを行っていきます。また法人内他校舎の見学や交流会なども行っていきます。	
主な行事等	季節に応じた不定期イベントの開催。(ハロウィン・クリスマスなど) 地域企業等と連携したイベントの開催。						